

## 平成30年度第1回岡山県和牛改良委員会 議事概要

- 1 日 時 平成30年5月15日(火)13:30～
- 2 場 所 全農岡山県本部総合家畜市場(真庭市草加部)
- 3 出席者 委員:10名 事務局:4名 その他:1名
- 4 諮問事項

### (1)直接検定終了牛等の措置について

今回、直接検定が終了する4頭及び前回処置が保留された1頭についての処置案が示された。

先ず直接検定が終了した4頭のうち「藤初花」は、体積・均称に優れ、ゲノミック評価が非常に高いため選抜することとした。「美津国茂」及び「藤沢花」は体積、体型又はゲノミック評価において難点があったため、去勢後肥育されることとなった。「千谷花国」は体積・均称に優れていたが、ゲノミック評価が低く、去勢後肥育されることとなった。

また、前回処置が保留された「利花国」は体積・均称に優れ、ゲノミック評価でもやや高い評価であるため、選抜することとした。

### (2)後代検定終了牛の措置並びに種雄牛の繋養計画について

#### 1)後代検定終了牛の措置

##### 【新百合】

検定18頭全頭が終了。肉質は良好で、基幹種雄牛と同等の成績であったが、肉量の面でやや惜しまれる点があったため、前回、保留扱いとされていた。しかし、期待される肉量が物足りないこと、他の形質についても現在の基幹種雄牛に及ばないことから淘汰することとされた。

##### 【花矢大河】

検定牛17頭中15頭が終了した。バラの厚さが惜しまれる他、脂肪交雑の成績が芳しくなく、肉量も劣っていることから、残り2頭の検定牛の結果を待たず、淘汰することとされた。

#### 2)種雄牛の繋養計画について

##### 【新初英】

本牛は現在繋養している牛の中で最高齢であり、凍結精液の在庫も多数あり今後の利用に支障がないこと、本年度も新規に候補種雄牛を繋養する予定であることから、廃用す

ることとされた。

### (3) 第12回全国和牛能力共進会基本方針(案)について

先般、H30年4月に第12回全国和牛能力共進会の骨子の一部が明らかになったこと、及び関係団体から意見を徴した結果を反映したことから、前回、提示した基本方針(案)を修正した案について説明があった。

先ず、基本方針(案)については、岡山県和牛改良委員会の決議事項でなく、第12回全国和牛能力共進会岡山県出品委員会で検討し、同出品対策協議会で承認するものであるとされた。よって、第12回全国和牛能力共進会岡山県出品委員となった者が、意見がある場合は、同委員会開催までに、第12回全国和牛能力共進会岡山県出品対策協議会に申し出ることが妥当とされた。

ただし、岡山県和牛改良委員会は、同方針(案)に対し特に異議がないとされた。

### (4) 岡山県和牛改良委員会規約第4条(組織)の改正について

前回から、和牛改良委員会の活性化と委員会で決定した事項をより迅速に現場に伝えることを目的として、現行委員に加え、新たに委員の追加を検討することとなっていた。

「岡山和牛育種組合」については、3支部あるがどこも活動が停滞しているため、追加する委員(関係団体、生産者代表等)から除外することとされ、その他委員や選定方法等については、次回以降も委員会で引き続き審議することとし、平成30年度中には改正案を示すこととされた。

### (5) その他

#### 1) 新見市和牛改良組合からの要望について

前回、JA阿新の道繁委員から意見があった他県からの精液導入による候補種雄牛の造成について、改めて新見市和牛改良組合から、岡山県和牛改良委員会あてに要望書が提出された。体型・能力に優れ、市場性の高い種雄牛造成のため、鹿児島県種雄牛「華春福」の精液を導入し種雄牛造成を行ってほしい旨の要望であった。JAびほく、津山、真庭、勝英の各委員も本件については賛成であるため、岡山県和牛改良委員会 会長から岡山県に対し意見具申を行うこととなった。